



白門板橋

1999. 8. 15 VOL.12

編集 中央大学学員会 東京板橋区支部

発行 〒175-0082 板橋区高島平2-23-3-101 TEL 03-3975-3300



「定時総会」へ挨拶

支部組織をあげて会員増強運動を

支部長 小日向 孝介



本日は、中央大学学員会東京板橋区支部の定時総会に、このように多数の会員のご出席をいただき、有り難うございます。また、公務ご多用のところ学員会本部から長田副会長、大学側から三宅常任理事のご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

(～国内の政治・経済問題略～)

先の新聞報道で母校・中央大学が新宿区市ヶ谷に新たに土地を取得したとの記事が掲載されておりました。これは、大学院教育の充実と国家試験対策をにらんだ大学本部の英断と理解できるもので、心から敬服するとともに速やかな伝統復活を期待したいところであります。

さて当支部の近況についてご報告申し上げます。

昨年は会員の皆様の物心両面にわたる多大なご支援のお陰をもちまして、支部創立十周年記念式典を盛大に実施することができました。記念誌の発刊も無事終了し、大学本部への寄付金も贈呈することができました。会員の皆様のご協力に対し改めて深くお礼申し上げます。

この春の統一地方選挙には、当支部から区長はじめ三名の議員が再選され、皆様のご支援ご協力に感謝するとともに区民の生活と福祉を守るため、ご奮闘をお願いしたいと思います。また春の叙勲で晴れの荣誉に輝いた方、あるいは公共機関の要職につかれた方々に心からお祝い申し上げます。

支部事業として、同好会にカラオケとパソコン研修が加わりましたので、今後の発展を期待したいと思います。また「ブロック制」が制度化されましたので、今年は会員増強運動を再開したいと思います。大変恐縮ですが、皆様の積極的なご協力をお願い申し上げます。終わりに、会員各位のご健勝と支部発展を祈念してご挨拶と致します。

支部ニュース

定時総会に六十九名が集う

平成十一年度・支部定時総会が去る六月二十六日(土)午後六時から、区立文化会館の大会議室で開かれました。

母校・中央大学から三宅常任理事、学員会本部から長田副会長を来賓に、総勢六十九名の会員が出席、盛会な集いとなりました。



定時総会を終えて記念撮影

■総会は肅々と進行

総会は池田副支部長の司会で開会し、物故された支部会員に全員で黙祷を捧げてから、小日向支部長に挨拶をいただき、板橋区支部の内外を取り巻く一年を多面的に総括、最後に本年度の支部事業計画の一端を述べ、締めくくられました。総会は小日向支部長の議長で進められ、五議案が原案通り承認可決され、記念撮影を経て懇親会に移りました。(決議事項の詳細は、四〜六頁を参照下さい)

■料理忘れ歓談に熱中

懇親会は大野常任幹事の司会で来賓から祝辞をいただいた後、関常任幹事の音頭で乾杯——開宴。どのテーブルにも忽ち和やかな人の輪ができ、歓談にも徐々に熱気が加わって宴たけなわになったところで、全員が立ち上がって肩車を組み、恒例となった「校歌」と「惜別の歌」を合唱して中締めとなりました。(池田記)

支部規約改正される

かねてから支部規約が現状にそぐわなくなっていることから、規約改訂委員会の手で見直しを進めていきましたが、幹事会の審議を経て改正の原案が、今年の定時総会で承認可決されました。

詳細は「定時総会決議事項」(5頁を参照下さい。)

なお改正された新規約は、次号『白門板橋』の付録として全会員に配布される予定です。

副支部長の役割分担決まる

去る七月五日(月)、定時総会後初の正副支部長会議が開かれ、改正された支部規約に基づいて、副支部長二名の役割分担が、次のとおり決定しました。

*

財務・事業担当	森副支部長
広報・事業担当	池田副支部長
総務・事務局担当	水野副支部長

(注) 事業は、森副支部長と池田副支部長がそれぞれ兼務します。

パソコン教室打ち上げ

去る六月二十三日(水)、支部会員を対象に開講した「パソコン基礎講座」は、好評の内に七月二日(金)夜の講座をもって終了。

講座は、午前・午後・夜の部と一旦三コースに分けた短期集中のものでしたが、講師も生徒も熱心だったため、所期の目標を達成したとして、最終日の講座を終えてから志村坂上の割烹「阿久里」で打ち上げパーティーを開き、お互いに労い合いました。



パソコン受講風景

囲碁部ニュース

練馬支部と初の親善試合

○ ●
 囲碁部では、練馬支部囲碁部からの申し入れで、去る四月二十四日(土)午後一時から、練馬区立向山庭園を会場に囲碁親善試合を行ないました。

他支部との交流試合は無論初めてのことで、隣接する支部同士が囲碁を通じて親睦を深めることは意義のあることです。

対戦成績は次のとおり

◇板橋区支部8——7練馬区支部
 ◇試合方法

棋力による手合い割を、事前に読み替えて決め、十五選手が一斉対局。

試合は、8対7の僅差で板橋区支部が勝利をおさめたが、実力は全く五分といえる内容で、今後も定期的に親善を兼ねた交流試合がもたれるそうである。

(詳細は、五月二十五日発行の『学員時報』を参照下さい)

花よりチャンコ料理

今年の観桜会は、去る四月十日(土)両国を会場に楽しく行われ*
 ました。

駅前広場に集合した一行は、隅田川沿いに舟橋聖一先生地の碑、旧安田庭園、横網町公園で観桜、片男波部屋(学員の玉春日関が所属)見学、割烹「吉菜」で直行組と合流。心配した雨にたたられたものの、カラオケを背にチャンコ料理を堪能し、まさに花よりチャンコの集いでした。



割烹「吉菜」で記念スナップ

中大・野球部が 十年ぶり東都一部に復帰

六月八日(火)、母校・中大野球部が専修大学との入れ替え戦を制し、二十一シーズンぶりに悲願の一部に復帰を果たしました。

一勝一敗の後の決戦で、この日は応援席に大勢のOBや関係者に混じって板橋区支部会員の姿もあり、勝負を決めた瞬間は全員が総立ちになり、大声で叫ぶ者、嬉し泣きする者もあり大変な騒ぎになりました。

リーグ優勝(二十一回を誇る名門)でありながら、一部低迷で優秀な選手の獲得に苦労して来たが、今年には昨年夏の甲子園準優勝投手・古岡(京都成章高)が入学したことで、エース花田(柳川高)の復調による二枚看板で悲願を達成しました。
 (栗原記)



優勝の胸上げ(中大)

TOPIC

原素之氏が晴れの受賞



春の叙勲(平成11年)で、会員の原素之(昭27法)

氏が、永年文部行政に尽力された功績により、勲三等瑞宝章を下賜されました。

心からお祝い申し上げます。おめでとうございました。

*

勲等

勲等は一〜八等まであり、板橋区支部からは、過去に二名が勲四等を受賞しています。が、勲二等は原素之氏が初めての受賞です。

会費納入のお願い

平成十一年度の年会費が未納の方は、振込用紙を同封しましたので、よろしくご協力下さい。(会計係)

定時総会決議事項

第11回・定時総会の決議事項を次のとおりご報告申し上げます。

第一号議案

平成十年度事業報告

(平成10年4月1日〜平成11年3月31日)

*

片桐事務局長から、次のとおり報告されました。

平成10年4月5日

支部観桜会 赤塚城本丸跡31名

平成10年4月15日

囲碁会 西池第一ビルで月例会12名

以下毎月第三土曜に開催
通算12回

平成10年4月21日

常任幹事会及び創立記念実行委員会

於文化シャッター研修所
19名

平成10年4月24日

会計監査会及び創立記念事業実務担当者会場下見 於東武12名

平成10年5月8日

幹事会 於区立産文ホール41名

平成10年6月20日

定時総会・支部創立十周年記念式典

(田永嘉彦、濱藤岡氏に感謝状)

於東武バンケットホール

平成10年7月4日

二十二区内支部連絡会

於 蒲田ステーションホテル

平成10年8月10日

会報『白門板橋』10号発行

平成10年11月21日

白門囲碁全国大会

於 駿河台記念館

9名

平成10年11月28日

墨田区支部設立総会

於 錦糸町東武マリオット

平成10年11月28〜29日

秋の旅行会(バス・一泊)

湯ヶ島温泉『三吉』

平成10年12月24日

『板橋区支部十年の歩み』発行

平成11年1月18日

文化講演会に出席

『日本外交と世界』

講師・外務大臣 高村正彦

於 上野精養軒

平成11年1月22日

支部新年会

於 板橋区立文化会館

平成11年2月1日

十周年記念特別会計監査会

於 板橋区立文化会館1F5名

平成11年2月8日

常任幹事会兼創立記念事業実行委員会

於 文化シャッター研修所

平成11年2月24日

目黒区支部新年会に出席

於 目黒雅叙園

平成11年3月10日

会報『白門板橋』11号発行

以上



祝 創立10周年記念式
中央大学

出島関

初優勝で
大関昇進

全力士が勝ち越す

▽出島(武蔵川)

本名・出島武春 平8卒

西関脇 十二勝二敗

▽玉春日(片男波) 平6卒

本名・松本良一

前頭西六枚目 九勝六敗

▽若菜(松ヶ根)

本名・中尾浩規 平7卒

幕下西七枚目 五勝二敗

▽田中(友綱)

本名・田中康弘 平10卒

幕下西二十五枚目四勝三敗

◆出島関

「大関」伝達式での口上

*

「謹んでお受け致します。力の

ものふを目指し、努力精進致

します。本日は

有り難うござい

ました。」



第一号議案
平成十年度収支決算報告並びに
監査報告

1 益田会計幹事から次のとおり
一般会計の決算報告が行われ
た後、岩澤監事から監査報告
があり、承認されました。
2 水野特別会計幹事から次のと
おり特別会計の決算報告が行

第三号議案
平成十一年度事業計画
一、会員の拡充強化

われ、岩澤監事から監査報告
があり、承認されました。
(主要支出科目の明細は紙面の
都合で掲載してありません)

二、支部規約の改正
(来期は役員改選のため、本
定時総会の第五号議案で改正
案が上呈されました)

四、同好会活動の推進
1 囲碁会
2 ゴルフコンペ
3 カラオケ同好会
4 パソコン教室開講

三、親睦会の開催
1 支部観校会(四月十日、両
国「吉菜」で実施)
2 旅行会(秋)
3 新年会

五、広報活動
会報『白門板橋』の発行
*上期と下期に分け年一回
発行する。

第2号議案 平成10年度・収支決算報告書
(自平成10年4月1日～至平成11年3月31日)

【支出の部】		(単位:円)		
科目	予算額	決算額	増減額	備考
総会費	700,000	1,018,310	318,310	文化会館5,6.28
旅行会費	810,000	945,985	135,985	伊豆長岡.11.29-30
観校会費	200,000	150,000	A 50,000	文化会館10.1.22
新刊会費	560,000	428,800	A131,110	鹿文*9.10.27
常任幹事会費	50,000	88,000	38,000	鹿文*8.5.9
幹事会費	150,000	90,600	A 59,400	鹿文*8.9.11.21
広報作費	200,000	205,800	5,800	会報『白門板橋』
印刷費	50,000	63,945	13,945	
通信費	180,000	157,620	A 22,380	
会議費	50,000	55,500	5,500	
会議会場費	50,000	0	A 50,000	
事務所費	50,000	0	A 50,000	
事務用品費	40,000	26,774	A 13,225	
旅行交際費	50,000	84,700	34,700	青島、他支那総会
同好会補助費	50,000	27,000	A 23,000	囲碁部、247部
雑費	10,000	9,100	A 840	
予備費	1,194,921			
次年度繰越金		1,636,331	337,410	
計	4,428,921	4,893,515	464,594	

【収入の部】		(単位:円)		
科目	予算額	決算額	増減額	備考
年会費	600,000	695,000	16,000	3,000 × 232名
総会費	700,000	1,018,310	318,310	10,000 × 80名 寄付金 110,000円 特別会計 108,310円
旅行会費	810,000	947,340	137,340	30,500 × 29名 寄付金 62,840円
観校会費	200,000	150,000	A 50,000	5,000 × 30名
新刊会費	560,000	472,000	A 88,000	7,000 × 66名 寄付金 10,000円
常任幹事会費	50,000	82,000	32,000	2,000 × 19名
幹事会費	160,000	87,000	A 73,000	2,000 × 22名 2,000 × 41名 寄付金 5,000円
寄付金	50,000	0	A 50,000	
受取利息	1,000	2,044	1,044	
特別会計収入		200,000	200,000	100周年特別会計より 収入
前年度繰越金	1,237,921	1,237,921	0	
計	4,428,921	4,893,515	464,594	

貸借対照表

創立10周年記念事業特別会計・決算報告書
(平成9年6月28日～11年1月14日)

収入の部			
科目	予算額	決算額	備考
支那会計振込金	200,000	200,000	
総会記念式典会費	300,000	240,000	100名-40名
記念事業協賛金	879,000	1,171,000	187名-200名
(一般会員)	230,000	551,000	110名-118名
(幹事)	270,000	232,000	45名-34名
(常任幹事)	279,000	388,000	22名-30名
(区職員)	0	110,000	0名-19名
広告料	500,000	954,000	40口-52口
寄付金	100,000	0	11万円-支部会計
料子収入	1,000	1,000	実額
合計	2,000,000	2,516,000	實助金、広告料寄与

中央大学学生会東京板橋区支部(平成10年3月31日現在) (単位:円)

資産の部		負債・資本の部			
科目	内訳	金額	科目	内訳	金額
現金	手数伝票	71,600	前受金	104年度会費	15,000
郵便振替口座	(3-668020)	983,700		3,000 × 5名	
郵便貯金	(60516001)	369,122			
郵便定期貯金	(3728043)	72,000			
郵便定期貯金	(3728043)	23,000	繰越剰余金	1,237,921	
総会会場費		31,000	当期剰余金	238,410	
計		1,561,321	計		1,561,321

以上の通り決算報告いたします。

平成11年4月28日

支部長 小日向 孝介
会計 久米 英雄 益田 永治

以上、支部の決算につき監査の結果、適正にかつ適法に表示していると認めた。

平成11年5月8日

監事 藤原 義男 岩澤 忠弘
坂井 健二

支出の部			
科目	予算額	決算額	備考
記念総会式典費	300,000	450,710	内訳は別表
大学寄附金	100,000	100,000	予算通り
記念誌作成費	1,400,000	1,601,747	当初予算より増取
振替手数料	0	14,285	内訳は別表
記念誌送料	25,000	20,770	区外会員と志生控分
印刷費・雑費	100,000	58,628	内訳は別表
予備費	105,000	250,000	額分以下記の通り
合計	2,080,000	2,516,000	

剰余金(26万円)の処分 (項目) (金額)
報告会経費 50,000円
支部会計繰入れ 200,000円

以上の通り、決算報告いたします。

平成11年 2月 1日

支部長 小日向 孝介
創立10周年記念事業特別会計
水野 公一
坂井 健二

以上、創立10周年記念事業特別会計の決算につき、監査の結果、
適正にかつ適法に表示していると認めた。

平成11年 2月 1日

監事 藤原 義男
監事 岩澤 忠弘

■歳時記■
夏
夏の風物詩・全国高校野球
大会が熱戦を展開している。
大会の覇者・横浜高校は選手
選で敗退。名門PL高校も姿
がなく淋しく、勝負の世界は
いつの世も厳しい。

第四号議案

平成十一年度予算(案)

益田会計幹事から、左のとおり説明があり、賛成多数で承認されました。

第五号議案
支部規約一部改正の件

栗原(三)規約改訂委員長から配布された改正(案)に基づき、改定の理由が説明され、賛成多数で承認されました。
なお改正の骨子は、次(下段)のとおりです。

骨子

- 一、支部会員の定義に、在任・在勤者以外の者も加えた。
- 二、役員に事務局長、常任幹事及び会計担当幹事を加えた。
- 三、役員を選任を総会とした。
- 四、副支部長及び監事の役割を明確にした。
- 五、参与を廃止し顧問・相談役の委嘱方法と役割を明確にした。
- 六、ブロック制を規約化した。
- 七、事務局に次長制度を加えた。
- 八、その他若干の文言が、訂正された。

第六号議案

一部役員等補充選任の件

池田副支部長から補充選任の趣旨説明と候補者の推薦理由が述べられ、それぞれ賛成多数で承認されました。

- ▼顧問
小野田 元氏を選任
 - ▼副支部長(補充)
水野 公一氏を選任
 - ▼幹事(大山町副ブロック長)
佐藤 道則氏を選任
- 第七号議案
その他
なし

訃報

▽大塚 尚志

昭和25年 専門部法科卒
板橋区常磐台
三ノ一四ノ二一

平成十一年四月十日死去

定時総会の案内を差し上げた際、奥様から「欠席」の返信とともに、知らせを受けました。ご冥福をお祈り申し上げます。

第4号議案

平成11年度予算(案)
(自平成11年4月1日 至平成12年3月31日)

【収入の部】 (単位:円) 【支出の部】 (単位:円)

科目	金額	備考	科目	金額	備考
年会費	660,000	3,300×220	総会費	660,000	
総会費	660,000	7,000×60	旅行会費	640,000	
旅行会費	840,000	28,000×30	顕彰会費	240,000	
顕彰会費	240,000	8,000×30	新年会費	490,000	
新年会費	450,000	7,000×70	常任幹事会費	50,000	
常任幹事会費	50,000	2,000×25	幹事会費	100,000	
幹事会費	160,000	2,000×40	広報作成費	200,000	年2回発行
		2,000×40	印刷費	50,000	
寄付金	0		通信費	160,000	
受取利息	1,000		会議費	50,000	会議、発送含む
前年度繰越金	1,536,331		会議会場費	50,000	
			事務用品費	60,000	
			事務用品費	20,000	
			慶弔交際費	100,000	3支部交流
					5,000×10名
					国25、267 郡他
					板橋区手数料他
計	4,552,331		計	4,552,331	



坂井健二氏が
「板橋区公文書館」初の開設懇談会委員
に就任

このほど発足した来年度開館予定の「板橋区公文書館」の開設懇談会委員に、当支部監事の坂井健二(29)氏が区民代表として選

任されました。開設懇談会委員には、大学教授等学識経験者五名に区民代表二名と区職員六名のそうそうたるメンバーで構成されますが、二十三区初の「公文書館」開設に関わる文化活動の一翼を担うことになり、同氏の活躍を期待したいと思えます。

(編集部)

■地名の由来一説

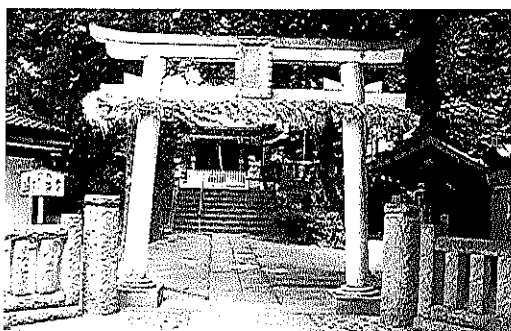
北緯三五度四六分、東経一二三六度四一分、海拔 四メートル。これが「小豆沢神社」の正確な位置です。

地名の由来④

■ 小 豆 沢 ■ の 巻

町田 光太郎 (25年卒)

では、現在の小豆沢体育館の下は海で、七子崎(ななこさき)という入江であったそうです。時の権威者・平将門への貢ぎ物として小豆を満載した船が、この入江に停泊中に、一夜暴風に遭って沈没。その小豆が流れ着いたので、小豆沢と称せられるようになった。



替すべきことであると裁定され、これを徳として小豆沢の名が用いられ、その後神社の中祭(六月)には小豆飯を炊いて振舞ったという故事があります。(板橋郷土史事典参照) 昭和初年から赤飯が餅つきに変わり、現在も地域行事として受け継がれています。

つたという説。

もう一つは、上流村民の糯米袋が洪水で流れ着き、これを村民が拾って食ってしまったところ、上流村から訴が出されて、裁判の結果、穀物をそのままにして置けば腐敗するだけなのに、これを有効に食用に供したことは、むしろ賞

■長閑な農村から工場地帯へ
かつて、この地域は素朴な農村で、餅つきをする頃は見渡すかぎりの麦畑が続き、長閑な景観を呈していました。第二次大戦中には軍需工場地帯に指定され、工場ができ、そこで働く人たちの家が建ち、その人々へ生活物資を商う店が並んで急速に開発されて行きました。勿論、戦時中は米軍機による空襲の洗礼も受けました。戦後は乏しいなかから復興の槌音も高く、目覚ましい発展を遂げて来ました。

昭和七年、板橋区成立時には志村小豆沢町となりましたが、その後「志村」を外して一丁目から四丁目までに分割され、昭和三十八年の住居表示変更に伴い、現在の区分になりました。



編集後記

○：母校・中大野球部が十周年ぶりに一部に復帰。大相撲の出島が大関にスピード出世。朗報の隣に三三年卒の山花貞夫(元日本社会党委員長)氏急逝のニュースがあり、今号「会員紹介」に登場いただいた三三年卒の方々には、さぞや複雑な思いが交錯したことでしょう。

○：編集委員が持ち回りで担当していた「地名の由来」を今回は地元・小豆沢に住む町田光太郎氏から玉稿をいただきました。家業(木材商)の傍ら執筆いただき、感謝に耐えません。誌面を借りて、お礼申し上げます。

○：今年度から編集委員会に若手の松島道昌(54年卒)氏を補強。若い感性を誌面に反映できるように思慮を巡らせています。(H記)

小豆沢というところは、この神社を中心にして長い歴史と伝統に育まれて栄えて来ましたが、地名の由来には二つの説があります。その一つは、今から千年位前ま